

欧州包装 NEWS

- powered by interpack -

2013 年 2 号(夏号)

5 月はドイツではとても心地のいい季節です。通常、緑が鮮やかで、天気も良く、アスパラもおいしいです。しかし、今年は 9 月に連邦議会選挙があるため選挙戦がすでに始まっていて、選挙をめぐっていたところでディスカッションが繰り広げられています。テーマはそれぞれですが、環境保護はその一つです。このようなことを背景に、欧州包装 NEWS をお届けます。今回のテーマは、

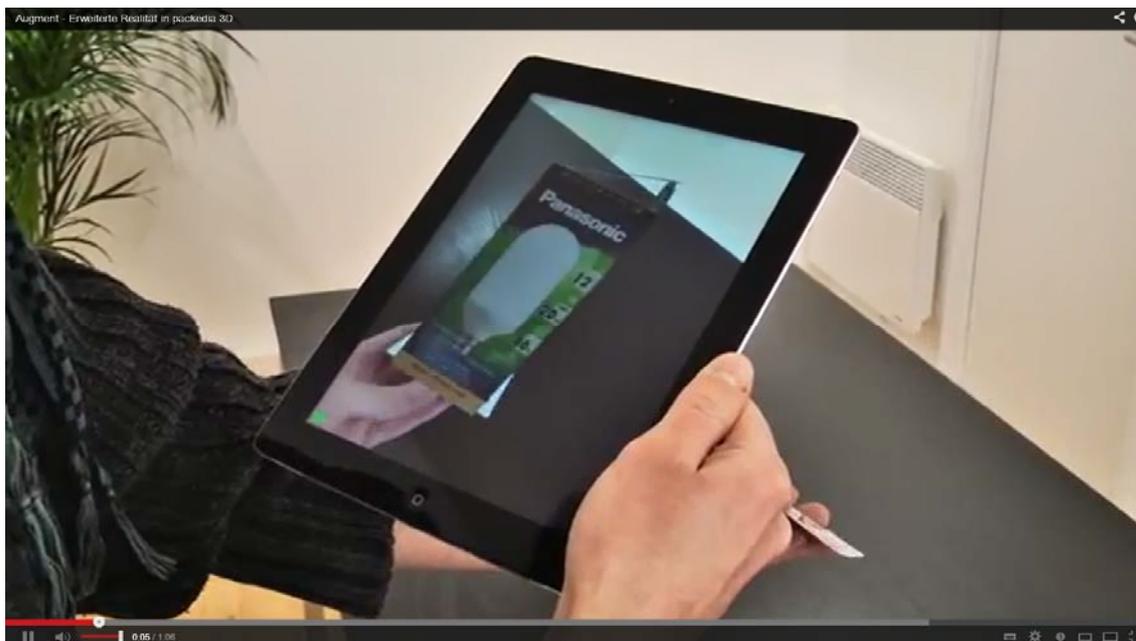
- トレンドとして、スマート・パッケージング、高齢者向けの「イージー・オープニング」、包装素材のプラスチックへの変更、
 - 産業・企業情報として、ドイツの包装機械メーカーの実績 に関するニュース、
 - メッセ・イベント情報として、interpack の特別展示、スイスでの展示会について
- です。是非、最後までお楽しみください。

第 1 部：欧州包装業界のトレンド

スマート・パッケージング

市場調査会社 ID Techex の情報によると、「スマート・パッケージング」(包装・容器に印刷される電子機器・機能)の市場は、これからの 10 年間でほぼ 2 倍の規模まで、金額では 14 億 5000 万米ドル(約 1473 億円に相当)の規模に成長すると予想されています。調査の情報源は、グローバル・スケールで活躍する 50 社以上の企業です。特に消費者向けの包装がこれから重要になると予想されています。

ドイツの印刷機械メーカー Heidelberg 社はその傾向を認知していて、副社長のグリム氏のインタビューによれば、「これからの包装は『スマート』でなければならず、プリンテッド・エレクトロニクスは、将来的に包装に不可欠なものである。言うまでもなく、当社はエレクトロニクスを印刷する技術も提供できる。」と主張しています。実際に印刷技術を利用して、包装に QR コードなどの情報を提供する事例も話題になっています。マクドナルド社は、米国では容器や包装のデザインをリニューアルし、すべてのバッグや紙コップに QR コードをつけるように決定したそうです。「E*Trade」社が開発したアプリは、飲み物の缶に印刷している UPC コードをスキャンすると、メーカー(ビールの場合は例えば、レーウエンプロイ社)の財務・投資家向け情報をスマホで見ることができます。ドイツのソフトウェアメーカー「DVS」社は独特な拡張現実(AR)のアプリを開発してきました。このアプリは、製品の QR コードをスキャンすれば、その製品(例えば、洗剤の箱など)の立体的映像がカメラに映っている映像に統合させます。



スクリーンショット：<http://www.youtube.com/watch?v=E2kZkIDIXs4>

このアプリは特に包装デザイナーに役に立つと思われる：顧客のところでプレゼンテーションをする場合などは、包装・容器の紙のモデルを持っていく必要がなくなります。仕事が簡便になるうえ、環境保護にも貢献します。ちなみに AR に関しては、弊社発行の[欧州印刷業界 NEWS 2012 年 3 号](#)でも取り上げました。

出典：2013 年 4 月 15 日・9 日付け Packaktuell 誌、

2013 年 2 月 20 日付け Neue Verpackung 誌、

2013 年 1 月 25 日付け Packaktuell 誌、

2012 年 10 月 9 日付け www.richardshear.wordpress.com サイト

高齢者向けの「Easy to Open」



ヨーロッパの各国では、日本と同様に高齢化が進んでいます。65 歳以上の人口は、すでに 1 億 2000 万人ぐらいになっています。高齢者は、包装のデザインよりも使いやすさに重点を置いています。今スイスで議論されているプロジェクトは、リテール大手 Coop が 2011 年からチューリッヒにあるシュルトヘス病院とドイツのフ라운ホーファー研究所で共同開発した、本当に開く易いソリューションです。もちろん、包装の内容物の保護力を従来通り大切にしています。Coop は、使いやすさを分かりやすく表現するために、特別のロゴ「Easy to open」を開発し、それに相当する製品につけるようにします。

別の 2 社が、同じく高齢者のために利用しやすいソリューションを推進するために、「Silver Pack」と称されるコンペを発足させました。2013 年に受賞したのは、「A&R Carton」が開発した「スライダー・パック」です。使い方はとても簡単だそうです。ユーザーは最初にスライダーを右に滑らせると、大きい耳が現れます。それを切り取り線に沿って破り、パウチを開けると必要な量を取り出せます。その後、パウチを元の形に折って、スライダーを左に滑らせれば、パックが再び閉まります。スイスのネスレ社がすでに「スライダー・パック」をミューズリの包装に利用しています。

Coop ロゴの出典：<http://www.coop.ch>

出典：2013 年 4 月 23 日付け www.print.de サイト

2013 年 4 月 8 日付け Packaktuell 誌、

2013 年 4 月 6 日付け Coopzeitung 誌、www.easy-opening.com サイト



図面の出典：http://silverpack.files.wordpress.com/2013/04/slider_packs.jpg

プラスチックの包装：成長するための努力

包装素材の約 40%のマーケットシェアをプラスチックが占めています。包装の軽量化などによって、2012 年度の販売量は 2011 年と同じレベルで横滑りを示しましたが、将来的にはプラスチック素材の利用が、ヨーロッパでは再び増えると予想されています。プラスチックは食品品の包装、特にフルーツと野菜の包装に大いに貢献すると思われます。しかし、それは自動的にそうなる訳でもありません。かなりのロビー活動が必要とされています。例えば、英国のプラスチック連盟包装部はプラスチックが包装素材としていかに優れているかを主張するパンフを発行しました。その中で、プラスチックは他の素材に比較して低い値のカーボン・フットプリントを引き起していると主張しました。「Plastics Europe」団体の包装規制担当のノックス・ペップル氏はインタビューで、プラスチックのリサイクル率を更に上げることができれば、環境への影響をさらに減少することが可能だとしています。北欧の魚類販売大手ボルンホルムス社はプラスチックの最も優秀な点を認めています。同社は今年に入って、従来使っていた金属の缶をプラスチック包装に変える方針を公表しました。それによって、充填のスピードを上げることもできるし、包装が軽くなったことによって物流コストの削減もできるとしています。

出典：2013 年 4 月 29 日付け *Packaging News* 誌・*Packaging Europe* 誌、
2013 年 4 月 23 日付け *Packacktuell* 誌、
2013 年 4 月 18 日付け *Packaging Europe* 誌

第2部：産業情報

ドイツの包装機械メーカーにとって、2013 年の事業年度が主に好調にスタートしました。下記は、その最新情報です。

クロネス：売り上げ・利益増加

クロネス社は、2013 年第 1 四半期が 2012 年度同期間比で、売上高を 5.4%増加して、6 億 8340 万ユーロ（824 億円に相当）を達成することができました。2013 年の見通しがやや楽観的で、4%の売上高増加を期待しているとしています。

出典：2013 年 4 月 25 日付け *Packacktuell* 誌・*FAZ* 誌

ポッシュ・レックスロス:弱い市場に立ち向かう

ドイツのロール市に本社をおく、ポッシュ・レックスロス社は、2012 年度の売上高などの財務・金融データを公表しました。昨年の売上高は 65 億ユーロ(年末のレートで約 7377 億円に相当)で、企業歴史の中で記録的な数字です。従業員数は連結ベースで 37,500 人ですが、そのうちドイツで 18,900 人が従業しています。競争力を維持するために、同社が研究開発に実質的な投資をしています:売上高の約 5.7%は R&D のために使われています。重要なトピックスとして、「省エネ」やスマホとタブレットの「インテグレーション」挙げられました。

出典:2013 年 4 月 17 日付け *Verpackungsrundschau* 誌

ゲレスハイマー:よいスタート

デュッセルドルフに本社があるゲレスハイマー社は、2013 年度第 1 四半期(2012 年 12 月 1 日~2013 年 2 月 28 日)に前年同期に比べて売上高を約 10%増やし、2 億 9700 万ユーロ(約 357 億円に相当)を実現しました。今年度は、2012 年に比較して売上高を 5~6%増加する見込みを公表しました。

出典:2013 年 4 月 11 日付け *FAZ* 誌

オブティマ:2012 年も成長

長年インターパックに出展している、包装機械メーカーのオブティマ社は、2012 年度の連結売上高を約 9%増やし、2 億 4000 万ユーロ(272 億円に相当)を達成しました。従業員数も 200 名程度増加し、1700 人となりました。同社の輸出率が非常に高く、80%を超えたと報道されています。

出典:2013 年 4 月 10 日付け *Neue Verpackung* 誌

第3部: メッセ・イベント情報

インターパック:ジャパン・パビリオンと特別展示



来年度のインターパックはあらためて業界の最大イベントになると、申込者の数から推測出来ます。公式的な締め切りが終わり、今小間割りが始まった段階です。現時点では、単独の出典はやや難しいですが、日本の企業にとって、一つの可能性が残っています: MDJ 運営の「ジャパン・パビリオン」です。

ジャパン・パビリオン参加者の特典は下のようになっています。■開催前日に事前説明ミーティング■会期中のプレス発表会■会期中に VIP ラウンジで、メッセ・デュッセルドルフ幹部との昼食会(各社代表者 1 名を招待)■会期中に MDJ が実施するハイライトツアー(通訳付き)に無料で参加。(各社代表者 1 名)

ジャパン・パビリオンへの出展参加のメリットは:

■グループ参加となるためスケールメリットを生かし、出展費用が単独出展よりも節約することが出来ます。■事務局との英語・ドイツ語による交渉は不要です。■会期中の突発事故に素早い対応。メッセ・デュッセルドルフ本社が即座に対応。本社の「interpack」担当のチームとメッセ・デュッセルドルフ・ジャパンのスタッフが搬入期間、会期中、撤去期間を通じてバックアップします。■メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンのスタッフおよび現地スタッフがパビリオンに常駐し、出展企業のお世話をします。■ジャパン・パビリオンとして設置されるため、世界で信頼の厚いジャパンブランドのイメージを有効に活用できます。詳細は[こちら](#)。

インターパックの特別展示



今回のインターパックでは、二つの特別展示が特に注目を集められると思います。一つは、メッセ・デュッセルドルフと国産連合食糧農業機関（FAO）が協力して発足させた世界の食糧状況改善をテーマとするイニシアティブ「SAVE FOOD」の特別展示です。「SAVE FOOD」イニシアティブに加盟している企業は、Ball 社、Bosch Packaging 社、Multivac 社の大手もあり、日系企業としてイシダ社の現地法人 Ishida Europe はすでに加盟しています。もう一つの特別展示は、前回同様「Metal Packaging Plaza」です。金属を包装素材として使う、約 40 社が集まり、テーマにあわせデザインされたブースで包装ソリューションを紹介します。

Verpackung Schweiz (2013 年 4 月 17・18 日)

スイスのチューリッヒで、イージーフェアス・スイスによって開催されたメッセは、215 社の企業が出展参加し、来場者は昨年より 100 人ほど減少し 3696 人を数えました。来年は、「パッケージング・イノベーション」展を同時に開催する予定を公表しました。

出典:2013 年 4 月 23 日付け Packaktuell 誌

UPAKOVKA/UPAK ITALIA(2013 年 1 月 29 日～2 月 1 日)



モスクワで、メッセ・デュッセルドルフ本社とロシアの子会社メッセ・デュッセルドルフ・モスクワによって開催された UPAKOVKA/UPAK ITALIA 展には 300 以上の企業が出展参加し 2 万人以上の来場者が記録されました。出展者はこのメッセをビジネスの拡大に大いに活用しました。特に食糧包装機械に関して感心が高く、商談が熱心に行われました。同メッセは、ドイツとイタリアの包装機械メーカーにとって、東欧の市場開拓に重要なツールであることがドイツ機械工業連盟 VDMA も承認しました。今回の UPAKOVKA/UPAK ITALIA は 2014 年 1 月 29 日～31 日に開催される予定です。(担当:山本)

欧州包装 NEWS 2013 年2号、お楽しみいただけましたでしょうか？ご意見やご希望をお聞かせいただけましたら幸いです。

【発行】(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

【編集担当】メルケ 【メッセ担当】山本

info@messe-dus.co.jp // <http://interpack.messe-dus.co.jp> // <http://www.messe-dus.co.jp>



「欧州包装 NEWS」ご不要の方は恐れ入りますが、上記アドレスへ「欧州包装 NEWS 送信不要」とご連絡お願い致します。本メールの掲載情報はメール発行日現在のものであり、予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。